

Interim Business Report

2023

中間報告書

2022/4/1 ▶ 2022/9/30

証券コード:4718



Top Message トップメッセージ

子どもたちの未来を育む独自の価値を提供し続け 教育企業No.1を目指す

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2023年3月期第2四半期の当社グループは、オミクロン株による感染再拡大で新型コロナウイルス感染症の収束が未だ不透明な中、ウィズコロナを前提に生徒・保護者の皆様が求める安全・安心な学習環境と、成績向上と志望校合格につながる質の高い学習指導の提供に注力してまいりました。また、2020年以降、コロナ禍により中止せざるを得なかった学校見学会・説明会「夏フェス」や、対面での海外受験講演会を3年ぶりに開催し、参加された多くの保護者の皆様に大変喜んでいただくことができました。

あわせて、社会変容や顧客ニーズの変化に適応した新たなサービスの開発に向け、DXの推進にも取り組んでまいりました。2020年から提供を開始した「早稲田アカデミーEAST」(テスト答案や家庭学習の課題等をスマートフォン

撮影し即座に伝送するシステム)、「早稲田アカデミーOnline」(当社Webサービスをご利用される生徒・保護者対象のポータルサイト)は、顧客の皆様へのユーザビリティをさらに向上させるべくバージョンアップを重ね、機能向上と拡充が進んでおります。同時に、社内業務におけるICT活用も推進し、業務効率の向上にも努めております。

これらの取組みの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が前年同期比8.1%増の148億2,800万円、経常利益が前年同期比20.6%増の11億900万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比21.2%増の6億9,000万円と順調に推移いたしました。

以上の業績伸長を踏まえ、当期中間配当金につきましては、2期連続増配の1株あたり8円とさせていただきます。

今後も、創業以来変わらぬ「本気でやる子を育てる」という教育理念の実践により生徒・保護者の皆様に最良のサービスと当社独自の付加価値をご提

供することに全力で取り組むとともに、ESGへの取組みも強化し、企業価値向上を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 山本 豊



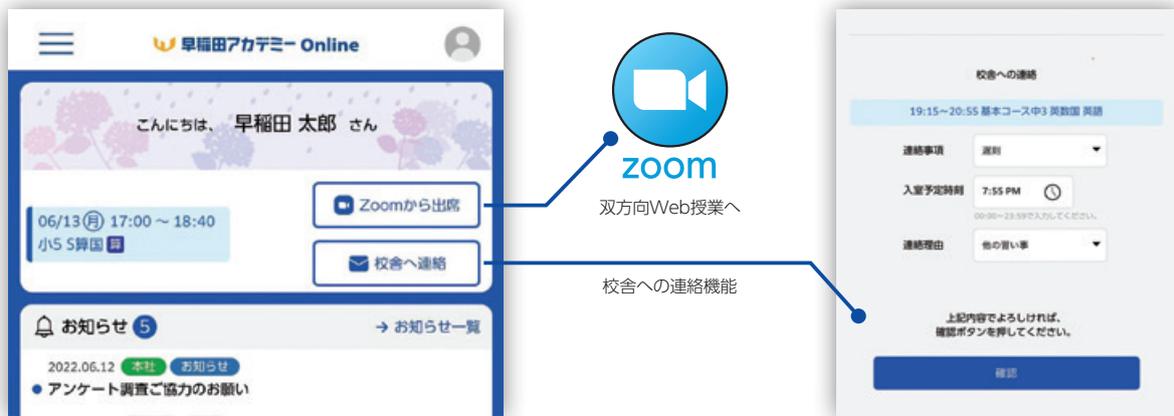
中期経営計画の進捗

中期経営計画(2021年3月期～2024年3月期)で定めた重点施策の進捗状況についてご報告いたします。

ICT活用サービス～「早稲田アカデミー Online」の機能拡充

生徒・保護者の皆様向けポータルサイト「早稲田アカデミー Online」は、当社のさまざまなサービスのデジタル化・オンライン化を加速させるための基盤であり、次世代型教育サービスのプラットフォームです。継続的に機能拡充を実施しておりますが、

今年7月には、授業の欠席・遅刻連絡や双方向Web授業の参加が、オンラインから簡単に出来るようになりました。保護者の皆様からは利便性がより高まったとのお声をいただいております。今後も更なる機能拡充、サービス向上に努めてまいります。



早稲田アカデミー個別進学館の拡充展開

直営校・フランチャイズ校合わせて首都圏で100校体制を目指している早稲田アカデミー個別進学館。2022年に入ってから「戸越校」「流山おおたかの森校」「三田校」「西早稲田校」が開校し、来春の開校も予定されています。今後も早稲田アカ

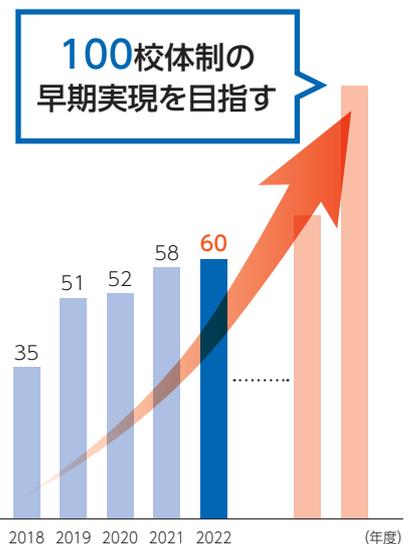
デミー個別進学館と集団指導校舎との連携を一層強化するとともに運営の効率化を図り、高学力層向け個別指導におけるNo.1ブランドの確立を目指してまいります。



「個別進学館流山おおたかの森校」の建物外観と教室等の様子

校舎数推移(直営校及びFC校)

(校)



「夏フェス」「秋フェス」

有名中学校の見学会を通じて、学校情報をご提供する当社夏のイベント「夏フェス」。

コロナ禍の影響に伴い、2020年以降実施を見送っていましたが、3年ぶりに実施することができました。6月～7月にかけて、難関校から上位中堅校まで、多くの学校にご協力いただき、全81

回実施いたしました。そのほとんどが定員締切りになるなど大盛況なイベントとなりました。

10月には「秋フェス」と題し、「夏フェス」でご好評いただいた「学校見学会」を実施、11月からは有名中学・高校の先生から直接お話を聞くことができる「進学講演会」を開催しております。

▶「夏フェス」「秋フェス」の様子

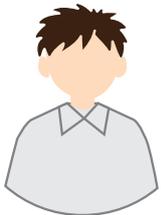


夏期集中特訓

コロナ禍で開催することが出来なくなった「夏期合宿」に代わるサービスとして2年前から始まった「夏期集中特訓」は、毎年改善を重ね、今年は約14,000人の生徒にご参加いただき、無事終える

ことが出来ました。

開催後のアンケートにおいては、「参加して良かった」「やりきった表情で帰ってきた」というお声を数多くいただきました。



受講生の方からの声

ほぼ一日という、長い時間勉強に取り組むのは初めての経験だったので大変良い経験になりました。ありがとうございました。初めての単元もありましたが、ポイントを押さえて解説してくださり、なんとかついていけました。朝の先生方のご挨拶が元気でとても気持ち良かったです。

先生の「自力突破」という言葉に感銘を受けたようで、自分で問題を最後まで解く楽しさを実感したと同時に、自分自身への自信に繋がったようです。また、同じ目標を持つ友達と一緒に勉強出来たことが非常に刺激になったようです。夏期集中特訓への参加が意識を変える良いきっかけになったと思います。ありがとうございました。



保護者様からの声

▶夏期集中特訓での授業風景



海外受験講演会 3年ぶりの会場開催へ

コロナ禍に伴い「会場開催」を中止していた海外受験講演会。10月2日のニューヨークでの開催を皮切りに、シンガポール、クアラルンプール、ロンドンの世界4都市にて会場での開催を再開いたしました。「会場へのご来場」もしくは「オンライン（Zoom）での配信映像のご視聴」のいずれかを選択していただける形式で

実施いたしました。

引き続き、海外校及び海外提携塾（11か国24都市）との連携を強化し、海外受験講演会の開催やオープン模試の提供など、海外生へのサポートを積極的に行ってまいります。

▶海外受験講演会の様子



▶当社の教育ネットワークは11か国24都市に



SDGsへの取り組み

当社では、国連が2015年に定めた国際社会が実現すべき17の開発目標（ゴール）であるSDGs (Sustainable Development Goals) の達成に向けて、様々な取り組みを行っています。



▶小学校低学年からのSDGs教育

塾生向けの月刊誌においてSDGsに関する記事を掲載するとともに、オリジナルエコバックの配付を行うなど、小学校低学年からサステナビリティの考え方を身に付けることができるような取り組みを行っています。



▶寄付活動

貧困などの理由から学校に通うことが困難な開発途上国の子どもたちに対する支援として、女性のいのちと健康を守るために活動している日本生まれの国際協力NGOである、公益財団法人ジョイセフを通じて、ノートや鉛筆等の学用品を寄贈しています。

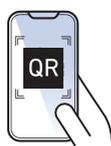


©国際協力NGOジョイセフ

お知らせ

本年8月1日付けで一般社団法人日本経済団体連合会に入会いたしました。本団体の活動に貢献するとともに、会員企業との連携を図ることで、更なる事業の発展と企業価値の向上を目指してまいります。

早稲田アカデミーの最新情報に関しては、当社ホームページ（右記QRコード）よりご確認ください。



早稲田アカデミー

進学塾
早稲田アカデミー



IR・投資家情報



Financial Highlights 決算ハイライト

連結決算の概況

決算期	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期
	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期
経営成績 (百万円)					
売上高	11,943	25,453	13,713	28,551	14,828
営業利益	332	1,064	917	1,821	1,096
営業利益率(%)	2.8	4.2	6.7	6.4	7.4
経常利益	338	1,077	920	1,841	1,109
経常利益率(%)	2.8	4.2	6.7	6.4	7.5
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	96	529	569	1,108	690
総資産	16,577	18,586	18,129	19,663	19,443
純資産	8,050	11,004	11,127	11,431	11,865
営業活動によるキャッシュ・フロー	931	1,900	1,598	2,645	1,733
投資活動によるキャッシュ・フロー	△303	△439	△670	△1,701	△479
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,625	1,946	△445	△1,044	△402
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	4,075	5,233	5,714	5,128	5,970
財務指標 (%)					
自己資本四半期(当期)純利益率	1.2	5.5	5.2	9.9	5.9
自己資本比率	48.6	59.2	61.4	58.1	61.0
1株当たりデータ (円)					
1株当たり四半期(当期)純利益	6.08	33.13	30.21	58.76	36.61
1株当たり純資産	507.68	583.59	590.11	606.22	628.87

財務ハイライト

売上高



営業利益



経常利益



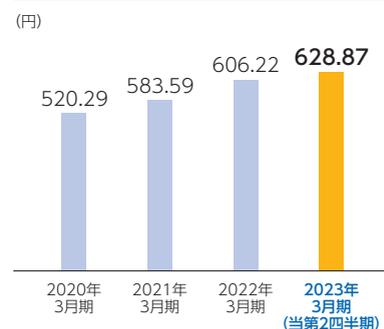
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益



1株当たり 四半期(当期)純利益



1株当たり純資産



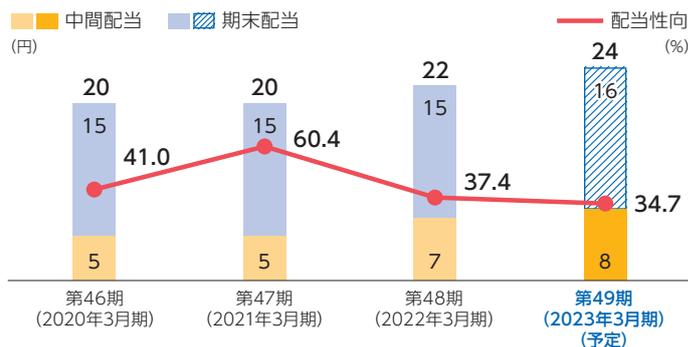
Shareholder Returns 株主還元

配当金

2期連続の増配を予定

当社は、株主の皆様に対する利益還元を、経営の重要課題の一つと認識しており、毎年の配当金につきましては、安定的な配当の維持を基本としつつ、収益状況に応じて配当性向も勘案の上、配当額の向上を検討していくことを基本方針としております。

2022年3月期の配当は、年間で2円増配させていただきました。2023年3月期につきましても1株当たりの年間配当24円と2期連続での増配を予定しております。今後も、株主の皆様への利益還元を向上させるべく、収益拡大に注力してまいります。



株主優待

基準日	優待内容		贈呈時期(予定)
3月末	当社株式を100株以上保有する株主様	3年未満 QUOカード 1,000円	毎年6月の 定時株主総会 開催後に発送
		3年以上* QUOカード 2,000円	
9月末	当社株式を100株以上保有する株主様	3年未満 株主優待券 5,000円相当	毎年11月 下旬に発送
		3年以上* 株主優待券 10,000円相当	

※継続保有期間3年以上の算定については、1単元(100株)以上の株主として、同一株主番号で3月31日及び9月30日の株主名簿に連続7回以上記載又は記録されていることといたします。

保有株数にかかわらず、一律左記金額の優待券、QUOカードを贈呈いたします。

株主優待の詳細に関しては当社ホームページ(下記QRコード)よりご確認ください



QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

Web株主アンケート

ご協力のお礼とご報告

Business Report2022(2022年6月発行)で実施したWeb株主アンケートに対し、多くの株主様から貴重なご意見や温かいお言葉をいただきました。ご協力いただき本当にありがとうございました。ご意見等は今後の事業活動、IR活動に活かしてまいります。

【当社IR活動へのご意見】

- ◆ビジネスレポートやIRサイトではグラフを多用するなど、見る側への配慮が感じられ、有り難いです。子供の塾でお世話になり、愛着のある会社です。今後も期待しています。
- ◆SDGsへの積極的な取り組みを継続すると共にその開示を期待しています。
- ◆IRサイト上で今期の実績に関する財務情報の充実を進めて欲しい。
- ◆今後の事業展開やより詳細な展望を知りたい。

Q

オンラインツールの拡充を期待しています。コロナが少し落ちつきつつあるもののオンライン教育は今後も充実を進めていく必要があると思っています。

A

本Interim Business Reportにおいて、7月に実施しました当社のオンラインツール「早稲田アカデミー Online」の機能拡充についてご紹介させていただきます。ぜひご覧ください。



株式会社早稲田アカデミーは
プライバシーマークの
使用資格を取得しています。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。